

石巻専修大学

代表電話番号 0225 (22) 7711 広報専用FAX 0225 (22) 7809

http://www.isenshu-u.ac.jp

日商簿記1級 双子の兄弟が合格



泉 佳範さん

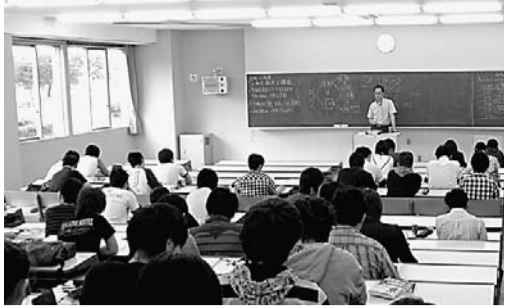
泉 宜慶さん

合格率10.2%の難関突破

6月14日に行われた日本商工会議所の簿記検定試験1級で、本学から泉宜慶さんと泉佳範さん(いずれも経営4)の2人が合格した。2人は双子の兄弟で、そろっての1級合格という快挙に周囲も喜んでいる。今回の試験は全国で受験者数1万8253人(実受験者数1万4399人)、合格者数1464人、合格率10.2%の難関だった。弟の泉佳範さんは今回が3回目のチャレンジ。これまで問題集を繰り返し解き、分からない箇所は所属する石巻会計研究会の先輩や顧問の岡野知子経営学部准教授からアドバイスを受けて勉強を続けてきた。佳範さんは1級合格を目指す人へのメッセージとして「勉強していれば必ず合格できます。時には壁にぶつかるとありますが、それでもあきらめずに努力し続けることで合格を勝ち取れます」と話している。

資格取得をバックアップ

夏期休暇中も多彩な講座



在学中の資格取得をバックアップしている本学。期間中も多彩な講座を開講した。厳しさが増している就職戦線を見据え、積極的にさまざまな資格取得を目指す学生が多数受講した。各教室では連日、熱心な受講生の姿が見られた。夏期休暇期間中の講座は8月3日の「ワード対策講座A」を皮切りに、9月18日の「エクセル対策講座B」まで全7講座を開講。最も受講者が多かった講座は「2級販売士講座」で92人。続いて「簿記講座2級」の85人。それぞれ日本販売士協会と仙台大原簿記公務員専門学校の講師が担当し、合格に向けた実践的な講義を展開し、受講生の反応も上々だった。

企業の採用担当者や来職活動中の4年次生と面談するキャリアガイダンスが8月5日、石巻市の石巻ランドホテルで開かれ、企業39社、学生約170人が参加した。

このガイダンスは、例年、企業からの求人が減少するこの時期、就職活動中の4年次生を支援するために企画したもの。本学4年次生の今年8月9月に起きた世界的な金融

融危機に端を発した不況(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

率(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

率(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

率(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

率(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

率(就職希望者数に対する就職内定者数)は昨年同月比で15%以上の減少。また、求人数も同じくマイナス25%と低迷。学生の就職環境は、昨年9月に起きた世界的な金融融危機に端を発した不況

格である販売士、そして日商簿記検定とも毎年試験にチャレンジする学生は多い。このほか、不況の影響で受験者数の増が見込

まれる公務員試験の対策講座、情報系企業の現場で取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

格である販売士、そして日商簿記検定とも毎年試験にチャレンジする学生は多い。このほか、不況の影響で受験者数の増が見込

まれる公務員試験の対策講座、情報系企業の現場で取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

格である販売士、そして日商簿記検定とも毎年試験にチャレンジする学生は多い。このほか、不況の影響で受験者数の増が見込

まれる公務員試験の対策講座、情報系企業の現場で取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

格である販売士、そして日商簿記検定とも毎年試験にチャレンジする学生は多い。このほか、不況の影響で受験者数の増が見込

まれる公務員試験の対策講座、情報系企業の現場で取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

生物生産工学科2年次生が臨海実習

マガキの発生実験メインに

理工学部生物生産工学科2年次生対象の「臨海実習Ⅱ」(担当：鈴木英勝助教)が8月9日から11日まで宮城県南三陸町の「宮城県志津川自然の家」で行われ、59人が参加した。今回の実習では「海の生物の神秘に迫る」をテーマをメイン実習として、魚介類の生理実験、寄生

虫の採集に取り組んだ。また、魚介類の生産から、それが人々の食卓に上るまでどのような経路をたどるのかを知るために、志津川湾の定置網、マボヤ養殖場、志津川魚市場を見学した。3日目には、海に親しむことをねらいとしたカッター漕艇も行われた。

9月16-18日には、同学科3年次生対象の「臨海実習Ⅲ」(担当：太田尚志准教授)が南三陸町の志津川ネイチャーセンターで行われる。

取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も

取得者が歓迎されるITパスポートの講座などを開講。いずれの講座も



①採集した生物を観察し、海の生物の神秘に迫る。②カッター訓練

創立20年記念事業

科学が子どもたちを魅了

「青少年のための科学の祭典」

創立20年記念「青少年のための科学の祭典」が8月15、16の両日、本学で行われた。主催は同大会実行委員会、日本科学技術振興財団・科学技術館。訪れた子どもたちは物理や化学、食品などの実験や工作などを体験し、科

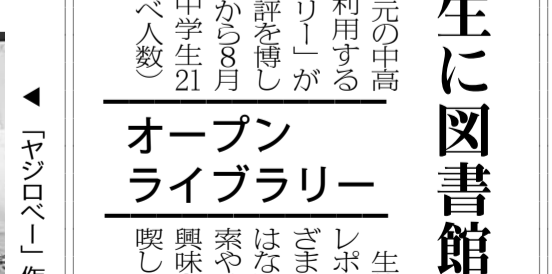


このイベントは、理科の実験や工作を通して子どもたちに自然科学の面白さを知ってもらうのがねらいで、01年以来毎年開催されている。会場は「くらしと環境」

中高生に図書館を開放

夏休み期間中、地元の高中生が本学図書館を利用する

「オープンライブラリー」が今年も実施され、好評を博した。今年7月21日から8月28日までの間に、中学生21人、高校生9人(延べ人数)が入館した。



生徒たちは、学校の宿題やレポート、受験勉強などさまざまな目的で利用し、学校にはないパソコンによる文献検索や、ベストセラー本などに興味を示し、大学図書館を満喫していた。